令和７年度　一般社団法人 長崎留学生支援センター事業報告書

Ⅰ．募集・広報支援事業

１）　ホームページ及び SNS 等による情報発信

留学生を取り巻く地域社会における留学生への理解促進や留学生が安心安全に留学生生活を過ごすことができるように、生活・文化交流や就職に係る情報収集し、弊センターホームページ・Facebook 及び Instagram 等で情報発信を行った。

また、長崎県大学等を紹介する«長崎留学ガイド»については、弊センター及び長崎県上海事務所のホームページから閲覧できる環境を維持している。

媒体	ＵＲＬ
ホームページ	https://nagasaki-issc.org/
FACEBOOK	https://www.facebook.com/nagasakiissc/
INSTAGRAM	https://www.instagram.com/nagasaki.issc/

なお、これら媒体へのアクセスを促すために、アクセスのＱＲコードを記載した«ＮＩＳＳＣカード»及び«NISSC パンフレット　令和７年度版»を作成し、広く配布した。アクセス数は以下のとおり。

	R7閲覧数	R6閲覧数	対、前年比率
ウェブサイト	850	900	95%
FACEBOOK	155	170	91%
Instagram	2070	640	323%

２）　ＮＩＳＳＣノベルティーグッズ作成及び活用事業

留学生のデザインによるノベルティーグッズを作成し、ＰＲ活動の強化を図った。なお、本グッズは«令和 ７ 年度文部科学省留学生就職促進プログラム»の一環として作成するため、①同プログラムのＰＲ，②長崎県内の大学等のＰＲ及び③弊センターのＰＲに繋がるようデザインし活用した。

	作成部数	主たる使用目的
クリアホルダー	4000	本プログラム関連の各催しへの参
資料用バック	1500	加者に配布

３）　広報用チラシ等の作成

NISSC が主催する行事のみならず、関係機関から周知依頼を受けた催しの周知に関しては、SNS 等にて留学生に届くようにデザインに工夫して 100 件以上の各種周知用チラシを作成し、各種催しの集客等をサポートを行った。

Ⅱ．就職支援事業

1) 留学生向けビジネス日本語講座の開講

留学生の卒業後の就活支援の一環として、大学コンソーシアム長崎が事務局として運営している「NICE キャンパス長崎」のコーディネート科目として下記のとおりに講座を開講した。

本年度はカリキュラム内容を刷新したこともあり、受講生が増加した。また、講座Ⅲについては、留学生雇用に関心の高い企業紹介と就活経験者の体験談を基に構成して、就活に直結して学習できる環境づくりを行った。

	留学生のための ビジネス日本語Ⅰ	留学生のための ビジネス日本語Ⅱ	留学生のための ビジネス日本語Ⅲ
1	オリエンテーション	ビジネスで使う日本語の敬語入門	オリエンテーション
2	自己紹介、お辞儀、挨拶の練習	日本の職場における内と外の文化／自己PR	グローバル企業の現場（KPO)： ONE DEJIMA
3	注意（サインや掲示物）	就職活動 ～ヤングハローワーク長崎～	モノづくりの心（製造業）： ㈱亀山電機
4	留学生のための在留資格と就職準備セミナー	日本語職場における「ホウレンソウ」入門	面談クリア！ ～就活経験談から学ぼう①～
5	長崎の企業紹介 ～ONE DEJIMA～	課題： 「ホウレンソウ」を考えよう①	長崎のおもてなしの心で働く（宿泊）： ㈱稲佐山観光ホテル
6	長崎の歴史と文化を学ぶ ～歴史博物館見学～	課題： 「ホウレンソウ」を考えよう②	安心・安全な食のために働く（食品加工） ：Marine Foods
7	自己PR①　自分の文化の説明、就職理由のまとめ方	発表①： 内外文化とホウレンソウ	インターンシップ・クリア！ ～就活経験談から学ぼう②～
8	入社の手続	発表②： 内外文化とホウレンソウ	情報収集！ ～就活経験談から学ぼう③～
9	自己PR②　自分の文化の説明、就職理由のまとめ方		
10	指示との理解と会議スケジュールの管理		
11	自己PR③　自分の文化の説明、就職理由のまとめ方		
12	指示の確認とスケジュール調整		
13	現場でのコミュニケーションと許可のとり方		
14	自己PR　発表①		
15	自己PR　発表② 総括／評価		
講座期間	6/9～8/8（週2回）	9/29～12/1（週1回）	後期
形式	ハイブリッド	ハイブリッド	オンデマンド
単位	2	1	1
使用言語	英語	日本語	日本語
対象レベル	N4　以下	N4～N3	N3　以上
受講者数	13名	22名	8名

２）留学生向けキャリア教育講座の開講

留学生の卒業後の就活支援の一環として、長崎大学キャリアセンターの白井章詞准教授の協力を得て、大学コンソーシアム長崎が事務局として運営している「NICE キャンパス長崎」のコーディネート科目として下記講座を開講した。

	留学生のための 日本社会におけるキャリア形成	留学生のための日本における職業選択とキャリア形成	こんな仕事をしてみたい ～長崎県笑顔のロールモデル～
1	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
2	課題の説明	日本企業の採用と人材育成①	カフェ／英語塾／針灸師
3	日本の社会と働く仕組み（ｉ）	日本企業の採用と人材育成②	YouTuber／ヘアサロン
4	日本の社会と働く仕組み（ii）	企業研究と自己分析	酒造業／レンタルスタジオ
5	日本の若者のキャリア形成	業界と職種 （日本を代表するグローバル企業）	社会福祉法人／ラジオパーソナリティ
6	日本への留学と将来の展望	業界と職種 （九州を代表するグローバル企業）	ウェブデザイン／ダンススタジオ
7	日本で働く外国人のキャリア形成	外国人財に対する日本企業の期待	ドローン指導／エステティックサロン
8	課題発表	まとめ	こんな仕事をしている人に会ってみたい
講座期間	11/19～1/28（週1回）	11/19～1/28（週1回）	後期
形式	オンライン	オンライン	オンデマンド
単位	1	1	1
使用言語	日本語	日本語	日本語
対象レベル	母語を日本語としない方	母語を日本語としない方	母語を日本語としない方
受講者数	3名	6名	0名

オンデマンド講座（こんな仕事をしてみたい）の受講登録者は 0 名で、キャリア形成講座の受講生も一桁と少数となったが、受講生 1 名が長崎市内の企業へのインターンシップが確定した。留学生のキャリア教育については、既に各大学の必須科目があることに加えて、日本留学そのものがキャリアの一部であり、引いては、既にキャリア意識を持って来日している留学生には、在学期間中にキャリアに対するマインドを変えるようアピールすることも必要と推察される。

３）　インターンシップ事業

留学生のためのインターンシップ事業として、以下の事業を実施した。なお、本年度の中期インター

ンシップは、1 件の実施に加えて、来年度に向けて、1 件の募集を行った。

・マスメディア（長崎市）1 名：2026 年 3 月～1 ヵ月間
・組織農業（雲仙市）募集中：2026 年 4 月～

４）　留学生向け　企業見学会

留学生の雇用に関心のある企業の協力の元で、留学生向けの企業見学会を実施し、日本の企業文化や職業の現場に触れる機会を提供した。

企業名	業種	実施 年月日	所在地	参加 人数
㈱稲佐山観光ホテル	宿泊業	R7.7.15	長崎市	4名
㈱亀山電機	製造業	R7.7.23	長崎市	6名
丸協食産㈱	食品加工業	R7.7.29	雲仙市	4名
㈱西海建設	建設業	R8.2.10	長崎市	2名
㈱亀山電機	製造業	R8.2.17	長崎市	14名
九州ビルド㈱	造園業	R8.2.24	長崎市	13名
延べ　6社／留学生43名				

５）　就活支援動画事業（文）

昨年度までに作成した９本の就活支援動画に加えて、合同説明会やセミナー等の雰囲気を伝えて参加意欲を高めることを目的に、本年度に実施した催しのショート動画を作成し、NISSC ウェブサイト上で閲覧できる環境を整えた。

NISSC URL	http://nagasaki-issc.org/	
公開している動画		
就活支援動画	第1弾	就活体験談　01
就活支援動画	第2弾	就活体験談　02
就活支援動画	第3弾	面接編　自己紹介
就活支援動画	第4弾	日本の就活の特徴
就活支援動画	第5弾	情報収集
就活支援動画	第6弾	就活体験談　03
就活支援動画	第7弾	就活体験談　04
就活支援動画	第8弾	インターンシップ
就活支援動画	第9弾	就活体験談　05
イベント・ショート！	NAGASAKIしごとみらい博	
イベント・ショート！	業種別交流会	
イベント・ショート！	外国人留学生雇用促進フォーラム	

６）　留学生就職促進のための啓発事業

・異文化理解セミナー～外国人材定着のカギは異文化理解から～

令和 7 年 6 月 25 日にハイブリッド形式（対面は長崎市内）で本セミナーを開催し、長崎県内及び留学生支援に関わる組織関係者 56 名が参加した。

【プログラム】

国際ビジネスにおける“文化”の影響	長崎大学　経済学部 准教授　丸山　真純
地方で働く外国人が考えていることと、受け入れ側ができること	長崎国際大学　国際観光学科 准教授　東出　朋
外国人材受入れ・定着の成功例と失敗例 ～制度、手続の期間、コスト感、外国人材からの声などについて具体的に説明します～	長崎県行政書士会　会員 青山行政書士法務事務所 青山　周広
長崎県からのお知らせ（施策紹介）	長崎県未来人材課

・業種別交流会

令和 7 年 10 月 15 日に出島メッセ長崎を会場にして、本交流会を開催し、留学生 55 名、企業関係者 16 名（11 社）が参加した。本交流会は、«得意分野の役割分担»を軸に、長崎商工会議所主導で企業を対象にした「外国人材の受け礼促進セミナー」の第 4 部にとして開催した。前半（第 1 部～第 3 部）は 61 名（39 社）の参加であった。

【プログラム】

第 1 部：外国人雇用に関する基礎知識

講師：リーガルナビ行政司法法人　代表　李　泳勲　氏

・外国人の在留制度の種類と雇い入れる場合の手続きの解説

・在留資格別に認められる就労内容と、特色の解説

・外国人雇用の際の注意点

第 2 部：事例紹介：

テーマ：外国人雇用に必要な職場環境の整備について

・㈱稲佐山観光ホテル（宿泊業）

・㈱亀山電機（製造業）

第 3 部：施策説明（長崎県／長崎市）

第 4 部：外国人留学生との交流会

・外国人留学生雇用促進フォーラム

昨年度に引き続き、2026 年 1 月 30 日（金）出島メッセ長崎にて、インターンシップ受入企業及び参加留学生の報告会として本フォーラムをハイブリッド形式で開催し約 50 名が参加した。オンラインでは、九州管内に留まらず、関西、関東や北陸地方からの参加もあり、本プログラムの全国的な広がりを示す結果となり、文科省プログラムの事業内容に沿う成果となった。

また、最終年度のまとめ的な位置づけでもある本フォーラムは、企画段階から「自走化のための拡充ネットワークの強化」を視野に入れており、ジェトロ、長崎市、長崎商工会議所、大学等と協力して開催することとなった。

文科省「留学生就職促進プログラム」の関連事業の成果として全国的な協力体制が整いつつある。今後は本プログラムの成果の定着化を目指して、県内大学等の留学生の国内就職促進に加えて、国内の大学等を卒業／修了する留学生の長崎県内の企業への就職促進のための事業も検討していく。

第1部	**「グローカルな風が吹けば、わが社のカルチャーも進化する！** ～外国人材と協働で活躍する会社になるためのコツ～ ジェトロ知的資産部　高度外国人材課　課長代理　Kulkami Swastik 氏
第2部①	**外国人材雇用／活躍の経験談　～企業の目線でヒント！～** 株式会社　亀山電機 田中工業　株式会社 ONE DEJIMA 株式会社
第2部②	**留学生のインターンシップ経験談～留学生の目線からヒント！～** 長崎大学大学院　留学生 長崎国際大学　留学生

・NAGASAKI しごとみらい博への協力／出展

本プロジェクト成果のひとつである拡充ネットワークの活用及び強化を図るために、長崎労働局が若年者連携事業の一環として毎年開催している「NAGASAKI しごとみらい博」への事前～当日の実施協力を行った。本年度は長崎県内に事業所を有する 122 社と就職希望をする若者 504 名が参加した。留学生の参加は 108 名で全体の約 21%であった。

NISSC の協力内容は、10 月 6 日（月）に開催された①企業向け事前説明会（122 社／約 300 名参加）において、外国人材の有効性や留学生雇用促進に係る講話を行い、来場する留学生への積極的な声掛け及び雇用について検討頂くよう促した。更に、12 月 6 日（土）の当日は、②九州北部からの参加者のための送迎バスの手配、及び、③会場内に「留学生ヘルプデスク」を設置し、来場した留学生の案内、事前希望で登録した 7 社を回る企業訪問ツアーを 3 回実施し、留学生が各企業ブースにおける就活支援を行った。

Ⅲ．生活支援／交流事業

１）　留学生同窓会支援事業

「中国長崎同学会」及び「ベトナム同窓会」からの要請を基に活動への協力を行う計画で、本年度はベトナム同窓会との協力で２）ダナン越日フェスティバル 2025 に出展した。

２）　ベトナム国「ダナン市 越日文化交流 フェスティバル 2025」への出展

ベトナム出身者の同窓会との協力で、「ベトナム国 ダナン市 日越文化交流 フェスティバル 2025（2025 年 7 月 4 日（金）～6 日（日））に NISSC ブースを出展し、長崎県の観光地や長崎県内大学等への紹介などを行った。ブース利用者は約 600 名で 26 件の留学相談を行った。

留学相談については「英語での学位取得の可不可」に加えて、「卒業後の日本就職等」に関する内容が主たる相談であった。更に、「アニメ」や「ＪＰＯＰ」がきっかけで日本に興味を持ち、留学を希望する若者や、卒業後はこれら日本のサブカルチャー産業への就職を希望するので、そのための学位コースを探しているなどの相談も複数件あった。

項目	作成数
ベトナム同窓会紹介のうちわ	600 部
長崎留学ガイド　ダイジェスト版（ベトナム語版）	600 部
アンケート　ベトナム語版	300 部
ポスター・看板	合計 5 部

３）　キャリア開発セミナー

2025 年 8 月 21 日に、インド南部のタミルナド州にあるバラティダサン大学にて、初級者対象のビジネス日本語講座及び長崎における留学生支援をテーマにした講義を行った。受講対象は同大学日本語コースの学生 20 名及び関係者で、本講義を通じて日本留学の魅力及び日本の企業文化に係るＰＲを行うことができた。1 回の特別講義としての位置づけであったため回数及び受講対象者は多くはないが、同州出身の NISSC スタッフが講師となったことで共感性も高く、日本に関心の高い若者に対する密度の高いアピールの場となった。

４）　キャリア開発①実施協力

2025 年 10 月 23 日に、長崎国際大学のキャリア教育科目「キャリア開発①」で、NISSC スタッフのムルゲサン・パドマバティを外部講師として派遣し、約 30 名の留学生に対して、講義を行った。

５）　多文化体験イベントの実施

NISSC スタッフのムルゲサン・パドマバティが主担当として、長崎県内の大学等に在籍する留学

生の企画による多文化体験イベントを以下のとおりに実施した。

第 1 回は、2025 年 5 月 3 日（土）に長崎北公民館を会場に、春の風物詩「エッグ・エクスペリエンス」を開催し、16 名の参加者と共に卵の絵付けや染め体験を行った。

第 2 回は、2025 年 5 月 25 日（日）に、長崎北公民館を会場に、「多文化料理体験」を開催した。11 名の参加者が中国の餃子、イタリアのラビオリ、インドのコルカッタイを 3 つのグループに分かれて、3 種類の「具材を包んだ粉もの料理体験」し、文化の相違性を体感するイベントとなった。

第 3 回は、2025 年 12 月 21 日（日）に長崎北公民館を会場に、「冬の風物詩～暖かい料理 de 寒い冬を乗り越えよう～」のタイトルのもとで、韓国と中華圏の暖かい冬の定番料理体験教室を開催し、20 名の留学生や市民が参加した。

６）　多文化体験イベントへの参加（出展協力等）

・ながさきみなとまつりへの出展

2025 年 7 月 26 日（土）と 27 日（日）に開催され、弊センターは、«インド»をテーマに子どもの遊び体験とタミル文字の紹介のブース出展を行った。加えて、初日に開催される花火大会後に出るごみを清掃する学生ボランティア募集への協力を行い、地域住民と留学生が協働する場の提供を行った。（体験者：約 600 名）

・長崎居留地まつりへの出展

2025 年 9 月 21 日（日）に長崎市南山手地区にて開催され、弊センターは多文化体験ブースを出展し、インドで使用されている言語のひとつであるタミル語の文字体験などの活動を行い、市民に対する多文化体験の場を提供した。（体験者：約 200 名）

・ながさき異文化ちゃんぽんフェスタへの出展

長崎市が毎年開催する“ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ”（2026 年 1 月 25 日（日）にベメックス長崎ブリックホールで開催）に出展し、ハングルとタミル文字体験及びタピオカティーの試飲等を通じて、留学生や在住外国人の母国文化を紹介・体験できる場を提供した。（体験者：約 400 名）

・西浦上小学校イングリッシュデイ実施への協力

2026年2月10日（火）に長崎市立西浦上小学校で開催されたイングリッシュデイにおいて、インド文化紹介及びタミル語体験の活動を企画し、6 年生 125 名に対して多文化理解の場を提供した。

７）　留学生向け防災セミナー

長崎地方気象台との共催で、2025 年 10 月 18 日（土）に、留学生及びその家族を対象に、長崎県内で発生しやすい災害の概要、危険度指数やハザードマップの見方などを学ぶセミナーを開催した。

Ⅳ．基盤づくり事業

１）　出入国在留管理局との意見交換会

福岡出入国在留管理局長崎出張所の協力を得て、2025 年 12 月 12 日（金）にハイブリット形式で取次申請者登録のための講習会及び意見交換会を開催し、長崎県内大学等 6 校、専門学校 4 校から 32 名が出席した。本年度からは講習会の後半に「理解度テスト」を実施することとなり、本年度の受講生は 90%以上の正解率で、全員が取次申請者として登録された。

２）　留学生対象調査の実施

・生活実態調査

長崎県内大学等のご協力の元で、留学生を対象にした生活実態調査を 2025 年 11 月～12 月にかけて実施した。留学生 1593 名の内、118 名と 7.4%の回答率に留まったが、留学生の生活状況について概略を把握できる結果となった。

・在籍／就職状況

長崎県内の大学等のご協力の元で、2025 年 5 月 1 日現在での、留学生の在籍状況及び就職状況の調査を行った。コロナ禍以降、留学生数は増加しており、本年度は過去最多の 1,593 名となった。本年度から開始した「“留学”以外の在留資格で在籍する外国人学生」の調査の結果 44 名となり、合計で 1,637 名となる。

就職については、2024 年度の卒業生 324 名の内、県内就職 36 名（前年度 38 名）と県外 95 名（前年度 84 名）と国内就職者数としては 9 名と増加しているが、県内就職者は若干の減少となった。 なお、就職者（182 名）の内、長崎県内企業には約 20%、県外企業には約 52%となり、国内就職率は 70%を超える成果となった。

Ⅴ．その他

１）　受託事業

本年度は、2 つの委託事業の元で、留学生就職支援事業を重点的に実施し、構成団体や関

係機関との協力により、概ね目標達成して、両委託事業を終了することができた。

委託事業は終了するが、次年度以降も、「留学生の国内就職率 50%」と「委託事業で実施した事業の自走化」を引き続き事業の中心において、【留学生の入口から出口までの一貫した留学生就職支援の体制】を整えるために、«Ⅱ.就職支援事業»のみならず«Ⅰ.募集・広報支援事業»と«Ⅲ. 生活支援／交流事業»含んで計画していく予定である。

２） 留学生 VOICE

今後の留学生向け企画が日本人の目線のみではなく、対象となる留学生の視点も取り込めるように、令和 7 年度に NISSC でアルバイトやボランティアとして業務に協力してくれた留学生の Q&A と活動報告を取りまとめた。

３） 委託事業

長崎大学に委託委託し、留学生対策強化を図った。